

平成 13年2月10日

No.

86

編集・発行 小浜市議会事務局



平成13年消防出初め式



年頭挨拶

小浜市議会議長
杓 子 明

新年明けましておめでとございます。

記念すべき二十一世紀の輝かしい幕開けの初春を、市民の皆様におかれましては、ご家族お揃いでお健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げます。昨年はシドニーオリンピックが開催され、日本選手の活躍、世界のスポーツレベルの高さに一喜一憂し、テレビの画面に釘付けになった反面、国内におきましては、心の痛む事件・事故・災害が多くありました。また底を突いたといながら、景気浮揚の風は私たちのものには、まだ吹いていないというのが実態であります。

そういう中で、わが小浜市におきましては、辻市長から村上市長へとバトンタッチされ、小浜線電化の着工、近畿自動車道敦賀線のそれぞれの地域における着工という明るいニュースがありました。また、小浜市の二十一世紀の運命を決めるといっても過言ではない琵琶湖・若狭湾リゾートライン鉄道の早期実現を目指し、総決起大会が本市だけではなく、若狭・嶺南地域の多くの皆様の絶大なご支援を受け、大成功を納めました。

議会におきましては、こうした交通網の整備はもとより、景気対策・行財政改革の推進など、多くの課題に向け、なお一層の努力を重ねてまいります。どうか本年も市民の皆様のご協力・ご支援、そしてご指導の程よろしくお願い申し上げます。

さて、昨年十二月に議会として、「市町村合併研究会」、「ITの勉強会」、そして今、皆様に目を通していただいています「議会だよりを考える」といった組織を立ち上げ、議会がさらなる研鑽をいたす所存であります。

特に市町村合併については、昨年十一月に福井県市町村合併要綱検討懇話会から県知事に対し、報告書が答申され、栗田知事はそれを受けて「合併要綱」を示されたところです。地方自治体は高度化、深度化、そして多様化された諸難問を広域化により対応してまいりましたが、もはや高速かつ高度に変貌する、この二十一世紀に際するものは難しくなっております。市町村合併は「避けて通れない問題」から「早急に対処すべき問題」になっているといえるのかも知れません。私達議会は、合併はあくまで地方自治体同士の自主的なものであり、住民の意志によることを基本とし、合併によるメリット・デメリット等を研究してまいります。市民の皆様におかれましては、いろいろな論議を重ねていただきたいと思っております。

最後になりましたが、市民の皆様のご健勝・ご多幸、そしてさらなる飛躍をご祈念申し上げます。ご挨拶といたします。

平成12年第7回定例会〔12月8日～21日〕概要

認定13件を認定、補正予算12件・条例5件・その他6件を可決、陳情1件を継続審査、1件を採択、3件を不採択、意見書1件を可決

平成十二年第七回小浜市議会定例会が十二月八日に招集され、会期を十二月二十一日までの十四日間と決定し、直ちに審議に入りました。

今定例会には、「平成十二年度小浜市一般会計補正予算（第五号）」など議案二十三件が上程されました。

初日の八日は、最初に閉会中の継続審査となっていた認定十三件について、決算特別委員長から審査の経過、結果が報告された後、討論・採決が行われ、認定第一号、第二号、第六号および第十三号は賛成多数をもって、認定第三号から第五号、第七号から第十二号までは全員賛成をもって認定しました。

次に議案二十二件および陳情五件が上程され、提案理由の説明、質疑の後、それぞれ所管の常任委員会に付託しました。

翌九日から十三日までを休会とし、十四、十五日の両日、本会議を再開し、十五名の議員が市政各般にわたり一般質問を行いました。（一般質問ハイライトは別記のとおり）

翌十六日から二十日までを休会とし、その間各常任委員会において、付託された議案、陳情について審査を行いました。

二十一日に本会議を再開し、はじめに陳情一件を閉会中の継続審査としました。続いて各常任委員長からそれぞれの付託議案、陳情について審査経過、結果が報告された後、質疑・討論・採決が行われ、各議案については全て原案のとおり可決、陳情については一件を採択、三件を不採択としました。

続いて、意見書案一件、議案一件が上程され、提案説明のあと、それぞれ採決を行いました。意見書案については原案のとおり可決、議案については収入役の選任について同意し、平成十二年第七回小浜市議会定例会を閉会しました。

議案および結果

議案番号	件名	提出者	審議結果
【認定】			
認定第1号	平成11年度小浜市一般会計歳入歳出決算の認定について	市長	認定
認定第2号	平成11年度小浜市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	市長	認定
認定第3号	平成11年度小浜市加斗財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について	市長	認定
認定第4号	平成11年度小浜市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	市長	認定
認定第5号	平成11年度小浜市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	市長	認定
認定第6号	平成11年度小浜市老人医療特別会計歳入歳出決算の認定について	市長	認定
認定第7号	平成11年度小浜市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	市長	認定
認定第8号	平成11年度小浜市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	市長	認定
認定第9号	平成11年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	市長	認定
認定第10号	平成11年度小浜市西津東部地区土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	市長	認定
認定第11号	平成11年度小浜市地域振興券交付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	市長	認定
認定第12号	平成11年度小浜市国民宿舎事業会計決算の認定について	市長	認定
認定第13号	平成11年度小浜市水道事業会計決算の認定について	市長	認定
【議案】			
議案第107号	平成12年度小浜市一般会計補正予算（第五号）	原案可決	可決
議案第108号	平成12年度小浜市国民健康保険事業特別会計補正予算（第二号）	原案可決	可決
議案第109号	平成12年度小浜市簡易水道事業特別会計補正予算（第二号）	原案可決	可決
議案第110号	平成12年度小浜市駐車場事業特別会計補正予算（第二号）	原案可決	可決
議案第111号	平成12年度小浜市老人医療特別会計補正予算（第一号）	原案可決	可決
議案第112号	平成12年度小浜市下水道事業特別会計補正予算（第三号）	原案可決	可決
議案第113号	平成12年度小浜市農業集落排水事業特別会計補正予算（第二号）	原案可決	可決

12月定例会日程	
8日	本会議 会期決定、決算特別委員長報告 討論、採決 議案(予算・条例等)上程、質疑 委員会付託
9日~13日	休 会
14日~15日	本会議(一般質問)
16日~20日	休 会(委員会審査)
21日	本会議 閉会中の継続審査、常任委員長報告 質疑、討論、採決 議案(意見書案・収入役の選任)上程 採決

臨時会	
◆平成十二年第六回臨時会(十月十五日)概要 第六回小浜市議会臨時会が、平成十二年十一月十五日召集され、会期を一日と定めた後、「議案について審議を行いました。」「小浜市議会議員政治倫理審査会委員の指名については、議長が次の七名の委員を指名しました。」「公立小浜病院組合議会議員の選挙については、組合議員に二名の欠員を生じたため、その補充選挙を行いました。	●小浜市議会議員政治倫理審査会 (会 長) 木 橋 正 昭 (副会長) 深 谷 嘉 勝 荒 木 弘 弘 小 堂 清 之 中 野 健 一 郎 石 橋 和 彦 松 尾 剛 ●公立小浜病院組合議会議員 山 崎 貞 夫 山 口 勝 義

議 案 お よ び 結 果			
議案第114号	平成12年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計補正予算(第1号)		
議案第115号	平成12年度小浜市西津東部地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)		
議案第116号	平成12年度小浜市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)		
議案第117号	平成12年度小浜市国民宿舎事業会計補正予算(第2号)		
議案第118号	平成12年度小浜市水道事業会計補正予算(第1号)		
議案第119号	小浜市一般職の給与に関する条例の一部改正について		
議案第120号	小浜市公の施設の管理委託に関する条例の一部改正について		
議案第121号	小浜市営体育施設の設置および管理条例の一部改正について		
議案第122号	小浜市営住宅管理条例の一部改正について		
議案第123号	中央省庁改革等に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について		
議案第124号	字の区域および名称の変更について		
議案第125号	住居表示を実施すべき市街地の区域および当該区域内の住居表示の方法について		
議案第126号	訴訟の提起について		
議案第127号	小浜市道路線の認定、変更および廃止について		
議案第128号	財産の取得について		
議案第129号	収入役の選任について		原案同意
〔陳情〕			
陳情第10号	働くルール確立を求める陳情書	団 体	不採択
陳情第11号	消費税の増税計画の中止を求める陳情書	〃	〃
陳情第12号	公共事業の生活密着型への転換を求める陳情書	〃	〃
陳情第13号	介護保険制度をはじめ、社会保障制度の抜本改善に向けた国の財政措置等を求める陳情書	〃	継続審査
陳情第15号	保育料の保護者負担軽減のために国の財政措置を求める意見書の提出に関する陳情書	〃	採 択

一般質問 ハイライト

12月定例会の一般質問は、12月14日、15日の両日に行われ、池尾議員をはじめ、石野、西本、清水、重田、宮崎、中村、荒木、山口、深谷、池田、中野、岡尾、富永、石橋議員の15名が、市政各般にわたり質問を行いました。

(質問と答弁の主な要旨は次のとおり)

森林政策

Q ①松くい虫防除対策について

②森林保全対策について

A ①平成九年度から環境問題等により、航空防除を中止した地域で被害は拡大傾向にある。今後、伐倒駆除を中心に、航空防除についても使用薬剤の許可が得られた時点で実施を検討する。また樹幹注入の推進、スギ・ヒノキへの樹種転換を図っていく。予算措置については、松くい虫被害対策特別措置法に基づき、補助率の有利な事業を選択しながら防除事業を展開していく。

②森林は林産物を供給するとともに、国土の保全、水源のかん養、自然環境の保全・形成、保健休養の場の供給等、多様な公益的機能を有している。本市においても植栽、下刈り、除伐、間伐等の保育事業を計画的に実施している。今後は、林業者の経営意欲の向上と林業担い手育成に努めながら、作業路・林道網の整備、造林、間伐、保全などの森林整備を促進し、健全で活力ある林業の振興を図る。



医療水準の向上

Q 公立小浜病院がへき地中核病院として、今後、医療水準の向上にどのような取り組みでいくのか。

A いわゆる公立小浜病院の長期計画を示した「新世紀I」の素案をもとに、市町村助役レベルで会議が重ねられ、第五回の会議からは大飯町の分院要望を取り込むなど、第十一回最終会議において大枠での方針確認を受けている。本年二月には、四市町村の首長と助役の合同会議において方針が確認され、三月初旬の病院議会の全員協議会においては、病院組合長から「新世紀I」の大枠方針が

報告された。しかし、大飯町の分院計画が諸事情の中で休止となり、進展をみていないのが現状であるが、今後、将来におけるへき地中核病院の拡充整備のために鋭意努力していく。

行政のスタンス

Q ①市町村合併について
②原発立地地域振興特別措置法の活用について
③PFI手法の活用について

A ①地域の将来や住民の生活に大きな影響を与える重大なテーマであり、合併特例法も含め、メリット・デメリットをよく検討し、十分PRする中で議論を深めていく。近隣町村と協議を進める一方、自主的な研究会が芽生えることを期待しており、一日も早い合併が望ましいと考えている。
②電源三法交付金制度に加え、交通整備、あるいは産業の振興等、広範囲な事業に新たな地域振興の方策が得られることになり、大きな意義がある。詳細については政令が定まり次第、各種施策を積極的に講じていきたい。

③PFIとは、民間の資金、経営能力、技術等を活用し、効率的かつ効果的に公共サービスを提供することであるが、これまでの第三セクターと異なり、民間に責任とリスクを分担していただく必要があるため、安易な参入は難しいものとなっている。また収益面が最も重要な部分であり、本市のような規模で、どれだけの収益があげられるかが問題となる。現在、プロジェクトチームで検討いただいている結果を踏まえ、対応していきたい。

高齢者の健康管理

Q 高齢者の健康管理と維持策について

A 健康増進対策としては、「自ら行う健康づくりの推進」を目標に、健康管理センターを拠点として、一次予防を念頭においた健康教育や健康相談、健康診査、機能訓練などの老人保健サービスを充実し、生活習慣病の予防と寝たきり予防を重点的に実施している。また、脳ドック、骨検診、高齢者体力づくり支援、温水プール利用券の交付